

京都スキー協第46回定期総会

日時:2015年7月5日(日)午後2時~5時

場所:下京いきいきセンター

(総会終了後懇親会を開催します。是非ご参加下さい)



上記の通り、京都スキー協第46回定期総会を開催します。全クラブからの代議員の参加をお願いします。

《前号で紹介した新指導員と所属クラブ会長の皆さんからの投稿を紹介します》

京都スキー協の皆様へ

3月12日～13日、木曾福島で行なわれた初級指導員検定会において、当クラブから2名の指導員が誕生して大変喜んでおります。

聞けば、京都スキー協の取り組みとして独自で検定会開催されるのは十数年ぶりとなりました。

当クラブは、2年前に西山地域で誕生して指導員の少なさを感じ取り、是非という事で数名が養成に名乗りを上げ未知の世界からの勉強を始め京都スキー協の熱意有るご協力のもとに取組んで来ました。

今回の検定会に向けては、慣れない勉強から始まり、実技も雪の上ではなく部屋の中で練習というやり方で、スキー技術を自分自身で掘り取ることで取組み、大丈夫かな?と感じながら各自が努力してきた結果が今日の成果を産み出した事に驚きを感じています。

これからは、指導員検定に合格すべくクラブ員が合格者を中心に進めて行きますので、京都スキー協の役員の皆様、育成に引き続き手を貸して頂くようお願い致します。

京都西山スキークラブ 長尾建治

この度、多くの方々のご指導とご鞭撻のお陰で初級指導員検定に合格する事が出来ました。

皆さんほんとうに有難うございました。

指導員は全く自分とは関係のない世界とと思っていましたが、生まれて間もない西山スキークラブで指導員を増やさねばと言う気運が高まる中、その為にどのような事を準備しなければならないかが少しずつ理解出来る様になり、昨年の夏頃に受験する方向で覚悟が出来ました。

学科の学習会でも、実技の養成や講習でも京都スキー協の方に懇切丁寧に指導して頂き、その都度理解が深まった様に思います。クラブ内での学習会、模擬テスト、実技練習に多くの仲間と一緒に取組めた事は楽しく、大きな励ましとなりました。

「やる限りは結果を出したい」と言う思いで、学科の学習とレポートの準備、実技の練習と自分なりに努力して頑張ってきましたが、「かなり長い道のりだったなあ」と思います。それだけに、合格出来てうれしく思うと同時に「ホット」しています。

受験の取組みを通じて感じた事は、多くの方々が本当に献身的に面倒を見てくださり有難く思ったこと、またその中で大変多くの事を学ぶ事が出来、私自身が成長出来た事です。本当に有難うございました。先輩方の様な活動はとても出来ないと思いますが、自分の出来る事で恩返しをしていきたいなと思っています。今後ともよろしくお願ひいたします。

京都西山スキークラブ会長 中島正俊



検定会に参加の皆さんとスタッフの皆さん(再掲)

京都西山スキークラブ 浅野輝男

この度は、目標としていた初級指導員検定に合格することができ、大変嬉しく思っております。これも、京都スキー協の先輩諸氏をはじめ、多くの関係者の皆様にご指導いただいた賜物だと感謝しております。

私が、指導員を目指そうと思ったのは、昨年の第1回ウィークデースキーツアーでの、参加者の皆さんの向上心旺盛な姿を見たことにあります。

それまでは、それなりに滑れて楽しくやればそれでいいのでは、と思っていたのですが、指導員の皆さんの熱心な指導と受講者の皆さんの旺盛な向上心は私の心を刺激しました。と同時にスキーというスポーツの持つ底知れぬ魅力を感じました。

昨年9月の聖護院での学習交流会を皮切りに、クラブ内での学科試験に向けての学習、模擬試験、そして今回の検定会での合格を目指した実技研修も数度に渡りました。その度に知らなかったことを知り、できなかった技術が少しずつ身についてきました。

京都スキー協の先輩諸氏や関係者の皆様からのご教示がなければ、今日の結果はなかったと思っております。本当にありがとうございました。

これからは先輩諸氏を見習いながら、未熟ながらも自分が得たものをより多くの皆様にお伝えできればと思っております。今後とも、よろしくお願ひします。

西山クラブ恒例の筍パーティー（4月25日：竹炭ランド）



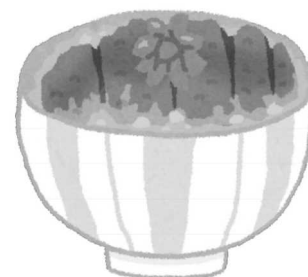
今庄レベルアップスキーが1月25日に行いました。指導員研修会に参加者はなくレベルアップスキーの参加者が3名でした。予想はしていたのですが今庄スキー場積雪量は充分あるのですが、晴天で気温が上がり雪質としてはあまり良くありませんでした。

悪雪滑走の練習としては絶好のコンディションなのですが、コブが大きくなり溝も深くなり体力と気力も限界になりギブアップでスキー終了。

悪雪ではやはり前後左右のバランスをスキー板の真ん中にキープし、強いエッジは厳禁、雪面を探りながら滑る事と、ジャンプも入れる事でターンが楽になるのではないかと思います。

昼間ボーダー禁止という事もあり、ファミリーとチビ子スキーヤーが多く、スピードを控えめに安全運転で滑りました。

最後は温泉に入り、敦賀で福井名物「ヨーロツパ軒」のソースカツ丼セットを食べて帰路につきました。



上級指導員検定会を受験して

スキークラブ望峰・小山孝夫

2月7日と8日に志賀高原で、関西ブロック主管の上級指導員検定会があり受験してきました。3年前に中級指導員を合格したばかりなので、少し早いとは思いましたが、関西ブロックの主管ということで、受験者が少なかったら赤字になりますし、荒川さんを誘って受験することにしました。

昨年秋の座学の講習会から始まり、いろいろとやらなければならないことが多く、忙しくてなかなか勉強する時間もあまりない中での挑戦でした。

レポートをまず提出しなければなりません。空いた時間を見繕って何日かかかってぎりぎりまで提出しました。レポートが提出できたら、筆記試験のための勉強です。若くないのでなかなか覚えられず、時間もあまりない中で大変でした。まず、何回も書いて覚えることにしました。電車の中や歩く途中でもメモを見ながら、夜の空いた少しの時間も勉強しました。

検定会での滑りも難しくて大変でした。教程どおりの滑りをしなければなりません。普段は気楽に滑っていますので、教程の滑りはなかなか体が覚えてくれません。今回、初めて上級指導員の検定を受けましたが、中級指導員の時とは随分違うな、というのが実感です。

中級指導員の検定は、ワンシーズンで受かってしまいましたが、上級指導員の検定は何年かかるかわかりません。池田さんや岡田さんが、「上級指導員はちょっとピカッと光る滑りが必要」と言っておられたことが少しわかったような気がします。

今回受験しているいろいろなことが勉強になりました。これを活かしてあと2年間は頑張るつもりです。

3年間ですべてが受ければいいのですから、今回何とか「理論」が受けましたので、あと2年間で「教程技術」と「応用技術」、「指導法」が受かるように、教程の滑りをしっかり勉強し、技術をもう少し磨いて頑張っていこうと思っています。